

ちりふ文化

第163号

2019年 1 月 1 日

発行所 知立市文化協会

知立市文化会館内
(パティオ池鯉鮒)

TEL 0566-83-0151

FAX 0566-83-0242

http://chiryu-bunka.org/

メール: chiryubunkyou@katch.ne.jp



知立町から知立市になったことで、当時市会議員であった田島浅弘氏（映画館主）・倉重久人氏（書家）・高木末一氏（細工師）の三人が他市の文化協会の存在を知り、知立（当

文協設立のいきさつとその後について

2020年に文協は設立五十周年を迎えます。そこで、設立及びその後の知立市の文化活動に大きな功績を残された野村尚次氏（昭和56年から17年間文協会長）に、これまでの経緯や思いを語っていただきました。

あなたにとって文化協会とは？ 発足五十周年迫る



時は町）の文化団体をまとめ文協を発足させようということになり、野村泰三・隅田三郎・西田直枝の三氏を事務局に置いた。
知立市誕生の翌年の昭和46年10月発足式が行われ、その翌年には会報創刊号を新聞折り込みとして全戸配布した。しかし、当時はまだ文協の存在は知られておらず、怪しげな政党団体だと思つた市民もいたほどだった。47年には新設の青年会議所と合同で江藤淳・大庭みな子・星新一を招き知立小学校体育館で講演会を行うなど奮闘したものだ。

文協は設立されたが、知立には文化施設はまだなかった。その時代、発表はどうしていたのですか？

日本画・洋画などで彩友会を結成しており、絵画展を知立中学校体育館や知立町役場の隣にあった公会堂で開催していたが、展示場としては不便極まりない環境だった。

中央公民館建設について

昭和53年、市役所新庁舎と中央公民館が建設された。発表の場を得て、知立の文化活動が活発化していった。文協の事務局が幾多の苦勞を乗り越えて公民館に置かれ、体育協会と同居していたが、体育館建設に伴い体育協会は移動していった。

文化会館（パティオ池鯉鮒）設立について

活動が活発化して会員数が飛躍的に増加すると、公民館での活動に限界が生じてきた。絵画展などでは、



出品数の増加により全てを展示できない状況も生まれてきた。また、観客席千人を超えるホール建設の要望も出てきたため、市長等に何度も掛け合い、平成6年に「市民ホール建設検討委員会」が発足し、施設設計の検討が始まった。平成8年設置の

「市民ホール活用協議会」では、文協関係者も参加し多くの提言により、利便性の良い会館建設に貢献し得た。会館建設に目途がついてからは、後任に任せた。

知立の文化についてどう思われますか

昔から知立には文化を育てようという機運があったし、これからも続くと思っている。その背景は、知立は東海道の宿場町で「人々の交流の場」だったからだと思う。

今後に期待することは

人々は、旗を振って走っていく人についていくものだ。できれば会長は一期だけでなく続けて欲しい。部門・流派を超えた交流を進め、さらなる発展をもたらせる人がふさわしい。市民の声は、いつかきつと反映する。市役所と仲良くやってほしい。

一番の思い出は

文化会館が建設となったことだ。ホールのみならず、練習できるスペースが同じ館の中にあるという事は理想的。その夢が叶った。

今では当たり前前の文化活動の環境が、実は野村さん達先人の熱い思いによって実現したのですね、と結ぶと「こういうこと好きだもんね」とにっこり微笑まれたのが印象的でした。（岡）

第42回 知立文化賞・文化奨励賞・文化芸術新人賞

表彰式 および 文化講演会

本年度は、知立文化賞に美術部門の発展に貢献された沖田廉平さん、知立文化奨励賞に子供たちの心を豊かにする活動をされている刈谷・知立・安城おやこ劇場さん、知立文化芸術新人賞に知的障がい個性として受け入れ、ストーリーテラー公演活動をされている小林佐椰伽さんが選ばれました。11月11日(日)文化会館かきつばたホールにて表彰式ならびに文化講演会を開催しました。

喜びのことば

知立文化賞



沖田 廉平

縁あって知立市に在住することになり48年になります。当時

は知立市には美術館はなく、駅前の公会堂（現在市営駐車場）で展覧会を行い、その頃から洋画で参加させていただいていました。新市庁舎・公民館が完成後、市美術展が発足、洋画部門審査員を拝命し創世期の何年かを同士とともに受け持ちました。その後関係者のさらなる活躍により、新芽が成木となり、質の高い美術展に成長していることを頼もしく思っています。文化協会・美術展の益々の進展を願い、謹んで栄誉ある賞を拝受致します。微力深謝

知立文化奨励賞

刈谷・知立・安城おやこ劇場

北村 新子

「子供の特性を大切にしたい！」

総会の時の発言です。私たちの会は、生の舞台を仲間と楽しく観るためには？ と、いつも考えて活動しています。3歳から



知立文化芸術新人賞

小林佐椰伽

(間取り代筆)



この度は「文化芸術新人賞」をいただきまして、ありがとうございます。ございました。

私は、豊田高等特別支援学校1年生の時「プロの語り部になりたい」という夢がありました。

周りの人は「いばらの道」だし、生活ができないと心配され、多くの反対がありました。でも平成25年にその夢が叶いました。

今、私には二つ目の夢ができました。それは「みんなが安心してつながって、みんなの持っている力が発揮できる活動の場を作りたい」という夢です。

私は夢に向かって、「語り一本道」を歩きます。みな様、よろしくお願い致します。

文化講演会 「目利きの人生談義」



講師：中島誠之助

テレビでお馴染みの和装姿。きりっとした中島誠之助氏は開口一番「広重が描いたように知立は人の動きと文化が一緒のまちですね」と。

「開運！なんでも鑑定団」は来春で25年。その面白さは「目で目」を利かせた鑑定です。値段の高低ではなく、その家にどうしてあるのかの知識を得、感動すること。「いい仕事をしてますね。」の素敵な話でした。

知立市美術展 小中学生美術展

第33回知立市美術展・第13回知立市小中学生美術展が、10月4日(木)から7日(日)パティオ池鯉鮒で開催され、それぞれ洋画の村上喜三郎さん(豊田市)・平澤由萌さん(知立小学校)が特別賞(愛知県知事賞)を受賞されました。知立市美術展は237点(無鑑査、審査員他46点含)、

小中学生美術展は市内10校から120点応募があり、無鑑査作品とともに展示され、約200名の来場者の方々に作品を鑑賞していただきました。



村上喜三郎さんの作品
「悠遊・竹富島」

中央公民館2階ロビーに
市長賞受賞作品とともに展示



平澤由萌さんの作品
「いざ、かつぎあげ」

豆辞典 四季ざくら 咲いてます

会館隣の間瀬口川沿いに「四季ざくら」「10月ざくら」が今年も花を咲かせています。これは、文協が知立市民会議(事務局は青年会議所)に呼びかけて実現したものです。各種団体・個人から72本の桜が寄付され、平成16年17年にわたり植樹されました。ぜひ、ご覧下さい。

第41回

文化のつどい盛大に開催

6月9・10日に創作部門・茶華道部門展、16・17日に美術部門展が、一般参加の出展も含め知立市中央公民館において開催されました。各部門とも体験コーナーを設け、また、会員の作品を提供するスタンブラリーを行い、多くの来場者の方々に楽しんでいただきました。

◇ ゆかたの着付け (体験)



◇ 美術部門・書 (体験)



◇ 創作部門 (手芸)



◇ 美術部門 (展示開始)



◇ およこ劇場 (作って遊ぼう!)



◇ 子ども生け花 (体験)



◇ 茶道部門 (体験)



第19回 しみん芸術祭

新たな出会いとにぎわいの場

6月から12月の土・日曜日に、第19回しみん芸術祭がパティオ池鯉鮒において開催されました。各催事毎の実行委員会により構成・集客方法について知恵を絞って企画してきました。こうした活動を続けることによる仲間づくりと共に、自分らしさを発揮していきましょう。

◆ 詩吟・剣詩舞・大正琴のつどい



◆ 市民音楽祭



◆ C・R・F (ちりゆつロックフェスティバル)



◆ 洋楽のつどい (音楽・演劇・舞踊)



◆ 邦楽・日本舞踊のつどい



◆ 民謡・歌謡のつどい



◆ 民謡のつどい



◆ 創作部門展示



◆ 美術部門展示



◆ 市民茶会 (茶道部)



◆ 演劇フェスティバル (ゆめぱレット)



会員だより

◇第19回知立書道連盟新春展

とき 31年1月17日(木) 1月20日(日)

ところ パテイオ池鯉鮒
ギャラリー

※漢字・仮名・調和体・篆刻等
新春にふさわしい作品を展示

◇知立市吹奏楽団 第22回定期演奏会

とき 31年1月20日(日)

じかん 14時～16時

ところ パテイオ池鯉鮒
かきつばたホール

※テーマはアメリカ(アメリカ出身の作曲家3名を特集)

国民文化祭おいた2018参加 ジャズダンス

私達パテイオジャズダンスは、10月21日大分県で開催された国民文化祭に愛知県代表として参加させていただきました。第1部・3部は大分の洋舞連盟の方々のコンテンポラリーとバレエでとても素晴らしい作品でした。第2部は全国から6団体のそれぞれ違ったジャンルのダンスで会場のお客様も楽しんでいただけたと思います。舞台監督の田中先生に的確な指導をしていただき、素晴らしい演出・照明の中で踊ることができ、幸せでした。皆様に感謝します。



(神谷美智子)

愛知県文化協会 連合会の活動

〈30年度〉

◇西三文協美術展／高浜市

とき 9月13日(木)～17日(月)

ところ かわら美術館

【出品者】

〔絵画〕日本画 狩野綾子

〔水墨画〕澤木信子

〔水彩〕大須賀かよ子

〔書〕漢字 杉浦恵美子・岩井剛

〔仮名〕足立麗華

〔篆刻〕丹羽常見

〔写〕豊福沢悌輔・野村義弘・三井欽雄

〔工芸〕木彫 加藤洋

◇県民茶会／豊川市

とき 10月14日(日)

ところ 豊川妙厳寺(豊川稲荷)

席主 売茶流知立教授者会

◇県文連芸能大会／安城市

とき 10月28日(日)

ところ 安城市民会館

※出演団体・民謡部会

◇県文連美術展／刈谷市

とき 1月30日(水)

ところ 刈谷市美術館

〈31年度〉

◇県文連芸能大会／みよし市

とき 9月29日(日)

ところ みよし文化センター
サンアート

◇県文連美術展

とき 12月24日(火)～1月5日(日)

ところ 愛知県美術館

お知らせ

●詳しくは文化協会事務局にお問い合わせ下さい。

◇文化協会新年懇話会

とき 1月26日(土)

じかん 18時～

ところ ホルクラウンパレス知立

※会員相互の親睦の機会ですので、是非ご参加下さい。

◇文化協会研修旅行

（今年度は日帰りです）

とき 2月25日(月)

ところ 久能山、東照宮参拝と
石垣いちご狩り

会費 9,000円

※会員相互の交流の機会ですので、ご参加下さい。

◇知立市第28回いけ花諸流展

とき 3月2日(土)～3日(日)

じかん 10時～16時

ところ パテイオ池鯉鮒
花しようぶホール

◇文化協会総会

とき 4月20日(土)

じかん 14時～

ところ パテイオ池鯉鮒
花しようぶホール

※部会を越えて円滑な事業展開を進めていきますので、理事・運営委員の方は出席をお願いします。

※総会終了後、運営委員会・実行委員会、理事会を開催します。

※各部会で、運営委員が交代される場合は、2月末日までに事務局に連絡ください。

◇新入部会

〔芸能〕邦楽部門

地唄・三曲合奏を
楽しむ会(清水正明)

〔創作・展示〕

CNK(中野保)

◇会員の特典

※文化協会会員証の提示により、喫茶シエロでのコーヒー等ドリンク料金の割引があります。

◇文化協会事務局の開局日

※平日の火曜日から金曜日
10時から16時

月曜日が祝日の場合、翌火曜日も休み

月釜茶会

会場 知立文化広場
時間 午前10時～午後3時
当日券 一席500円

◇1月席 1月20日(日)
宗偏流 中野 宗眞

◇2月席 2月17日(日)
宗偏流 中野 宗敏

◇3月席 3月10日(日)
表千家 細井 宗香

◇4月席 4月14日(日)
売茶流 近藤良仙窟

◇5月席 5月13日(日)
宗偏流 原田 宗佳

◇6月席 6月8日(日)
宗偏流 木全 宗愛

「東海道松並木のつどい2019」 参加者募集

とき 4月28日(日)

じかん 10時～14時(雨天中止)

ところ 東海道松並木遊歩道沿い
(知立市山町御林地内)

参加者申し込み締め切り
2月15日(金)

◇開催までの実行委員会日程

第一回実行委員会
とき 3月9日(土)

じかん 14時

ところ パテイオ池鯉鮒にて

第二回実行委員会

とき 4月13日(土)

じかん 14時

ところ パテイオ池鯉鮒にて

反省会

とき 5月11日(土)

じかん 14時

ところ パテイオ池鯉鮒にて

※申込先

知立市文化協会

(0566-830151)

東海道松並木のつどい実行委員会

あとがき

表紙の猪(切り絵)は、増田道博さん、文字(篆刻)は知立書道連盟丹羽常見さんの作品を掲載しました。皆さんの活動状況を会報に掲載しますので、どしどし連絡ください。

(会報委員会)